

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成23年12月22日 (2011.12.22)

【公開番号】特開2010-132069(P2010-132069A)
 【公開日】平成22年6月17日 (2010.6.17)
 【年通号数】公開・登録公報2010-024
 【出願番号】特願2008-308336(P2008-308336)
 【国際特許分類】

B 6 0 N 2/08 (2006.01)

B 6 0 N 2/20 (2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/08

B 6 0 N 2/20

【手続補正書】
 【提出日】平成23年11月1日 (2011.11.1)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

シートクッションのロアブラケットにシートバックのアップーブラケットが前後回動自在に連結されていて、前記シートクッションを前後移動自在に支持するスライダと、前記シートクッションを前後移動位置にロックするシートロック機構とが設けられたシート装置であって、

前記アップーブラケットには、シートバックの前倒方向にカム部とストッパ部とが設けられ、

前記ロアブラケットには、支軸で同軸にそれぞれ回動自在に支持される第 1 リンクおよび第 2 リンクが設けられ、第 2 リンクには、支ピンで回動自在に支持される第 3 リンクが設けられて、

第 1 リンクには、シートロック機構をロック・アンロック操作可能な第 1 ケーブルが接続されるとともに、ロック操作方向に回動付勢する第 1 スプリングと、ロック操作方向の回動を係止するための被係止部とが設けられ、

第 2 リンクには、シートバックの前倒時に、アップーブラケットのカム部で第 2 リンクを回動させながらストッパ部に当接することでシートバックの前倒位置を規制する当接部が設けられ、

第 3 リンクには、第 1 リンクの被係止部を係止する係止部と、この係止部が第 1 リンクの被係止部を係止する方向に回動付勢する第 2 スプリングと、第 2 リンクと連係する連係部とが設けられるとともに、シートクッションの前方跳ね上げ時に、第 1 リンクの被係止部の係止を解除可能な第 2 ケーブルが接続されていることを特徴とするシート装置。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 7】

前記課題を解決するために、本発明は、シートクッションのロアブラケットにシートバ

ックのアップブラケットが前後回動自在に連結されていて、前記シートクッションを前後移動自在に支持するスライダと、前記シートクッションを前後移動位置にロックするシートロック機構とが設けられたシート装置であって、前記アップブラケットには、シートバックの前倒方向にカム部とストッパー部とが設けられ、前記ロアブラケットには、支軸で同軸にそれぞれ回動自在に支持される第１リンクおよび第２リンクが設けられ、第２リンクには、支ピンで回動自在に支持される第３リンクが設けられて、第１リンクには、シートロック機構をロック・アンロック操作可能な第１ケーブルが接続されるとともに、ロック操作方向に回動付勢する第１スプリングと、ロック操作方向の回動を係止するための被係止部とが設けられ、第２リンクには、シートバックの前倒時に、アップブラケットのカム部で第２リンクを回動させながらストッパー部に当接することでシートバックの前倒位置を規制する当接部が設けられ、第３リンクには、第１リンクの被係止部を係止する係止部と、この係止部が第１リンクの被係止部を係止する方向に回動付勢する第２スプリングと、第２リンクと連係する連係部とが設けられるとともに、シートクッションの前方跳ね上げ時に、第１リンクの被係止部の係止を解除可能な第２ケーブルが接続されていることを特徴とするシート装置を提供するものである。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

本発明によれば、リンク、シートバックを前倒させるウォークインモード時には、アップブラケットのカム部で当接部を介して第２リンクが回動され、第２リンクに連係する第３リンクの係止部から被係止部を介して第１リンクが第１スプリングの付勢力に抗してロック操作方向に回動される。これにより、第１ケーブルを介してシートロック機構がアンロック操作されるようになる。そのため、シートクッションが前方にスライド可能になる。同時に、第２リンクの当接部にアップブラケットのストッパー部が当接することで、シートバックの前傾位置が規制されるようになる。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２１】

第１リンク３４は、一端３７ａがロアブラケット２１の穴２１ｂに係止され、他端３７ｂが第１リンク３４に係止される第１ワイヤースプリング３７により、第１ケーブル３６をロック方向に押し操作する右回動ｅ方向に付勢されている。第１リンク３４は、右回動ｅ方向に付勢された状態で、角パイプ５０に当接することで回動位置が規制される。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２２】

第１リンク３４には、第１ケーブル３６をロック方向に押し操作するのを係止するための被係止部３４ａが設けられている。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

これにより、第3リンク40の係止部40aによる第1リンク34の被係止部34aの係止が解除されるから、第1リンク34が第1ワイヤースプリング37の付勢力で右回転eして、第1ケーブル36が矢印p方向（ロック方向）に押されるようになる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

これにより、シートロック機構28の連係部材30が右回転qされ、これに連係するロック補助部材29が左回転rして、ロックプレート29aのロック溝がロック突起27aに係合することで、シートロック機構28がロック操作されるようになる。